

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

01054
JC973 U.S. PTO
10/085296
02/28/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2001年 2月28日

出 願 番 号
Application Number:

特願2001-055976

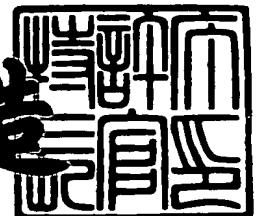
出 願 人
Applicant(s):

インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション

2001年 5月31日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3049753

【書類名】 特許願

【整理番号】 JP9010054

【提出日】 平成13年 2月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県大和市下鶴間 1 6 2 3 番地 1 4 日本アイ・ビー・エム株式会社 大和事業所内

 【氏名】 川口 佳文

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区六本木三丁目 2 番 1 2 号 日本アイ・ビー・エム株式会社内

 【氏名】 中垣 勝博

【特許出願人】

 【識別番号】 390009531

 【氏名又は名称】 インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション

【代理人】

 【識別番号】 100086243

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 坂口 博

【代理人】

 【識別番号】 100091568

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 市位 嘉宏

【代理人】

 【識別番号】 100106699

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 渡部 弘道

【復代理人】

【識別番号】 100112520

【弁理士】

【氏名又は名称】 林 茂則

【選任した復代理人】

【識別番号】 100110607

【弁理士】

【氏名又は名称】 間山 進也

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 091156

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9706050

【包括委任状番号】 9704733

【包括委任状番号】 0004480

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プログラム使用許諾期間の更新方法、プログラムの使用許諾方法、情報処理システムおよびプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 現在日時がプログラムの使用許諾期間内であるかを判断する第 1 判断ステップと、

前記第 1 判断ステップの前記判断が偽の場合、インデックス・サーバに対し、インデックス・ファイルの送信要求を発するステップと、

前記インデックス・サーバからインデックス・ファイルを受信するステップと、

前記インデックス・ファイルに含まれる認証サーバのアドレスに、認証要求を発するステップと、

前記認証サーバから認証情報を受信するステップと、

前記認証情報に認証成功の情報が含まれるかを判断する第 2 判断ステップと、

前記第 2 判断ステップの前記判断が真の場合、前記プログラムの使用許諾期間を更新するステップと、

を含むプログラム使用許諾期間の更新方法。

【請求項 2】 前記第 1 判断ステップは、前記プログラムの起動を契機として実行され、

前記使用許諾期間の更新の後に前記プログラムの実行が可能になる請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 前記インデックス・ファイルに含まれる前記認証サーバのアドレス情報が暗号化されており、

前記暗号化された前記認証サーバのアドレス情報を復号化するステップをさらに有する請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】 前記認証要求には、前記プログラムの使用が許諾されているグループに属するか否かを判断するためのユーザ識別情報を含み、

前記認証サーバは、前記グループを管轄する者が管理するものである請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】 前記認証要求を発する前に、前記ユーザ識別情報とパスワードとを入力するよう要求する画面を表示するステップをさらに有する請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】 前記インデックス・ファイルには前記プログラムの使用許諾条件に関する情報が含まれており、

前記画面には、前記ユーザ識別情報とパスワードの入力要求に加えて前記プログラムの使用許諾条件に関する情報を表示する請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】 ユーザからの要求を受取るステップと、

前記要求の受信を契機として、前記ユーザが使用するプログラムの使用許諾に関する認証を与えるサーバのアドレス情報を含むインデックス・ファイルを生成または選択するステップと、

前記インデックス・ファイルを前記要求を発したユーザに送信するステップと

を有するプログラムの使用許諾方法。

【請求項 8】 前記インデックス・ファイルに含まれる前記アドレス情報の部分は暗号化される請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】 現在日時がプログラムの使用許諾期間内であるかを判断する第 1 判断手段と、

前記第 1 判断手段の前記判断が偽の場合、インデックス・サーバに対し、インデックス・ファイルの送信要求を発する手段と、

前記インデックス・サーバからインデックス・ファイルを受信する手段と、

前記インデックス・ファイルに含まれる認証サーバのアドレスに、認証要求を発する手段と、

前記認証サーバから認証情報を受信する手段と、

前記認証情報に認証成功の情報が含まれるかを判断する第 2 判断手段と、

前記第 2 判断手段の前記判断が真の場合、前記プログラムの使用許諾期間を更新する手段と、

を含む情報処理システム。

【請求項 10】 前記第 1 判断手段は、前記プログラムの起動を契機として

実行され、

前記使用許諾期間の更新の後に前記プログラムが実行可能になる請求項 9 記載のシステム。

【請求項 1 1】 前記インデックス・ファイルに含まれる前記認証サーバのアドレス情報が暗号化されており、

前記暗号化された前記認証サーバのアドレス情報を復号化する手段をさらに有する請求項 9 記載のシステム。

【請求項 1 2】 前記認証要求には、前記プログラムの使用が許諾されているグループに属するか否かを判断するためのユーザ識別情報を含み、

前記認証サーバは、前記グループを管轄する者が管理するものである請求項 9 記載のシステム。

【請求項 1 3】 前記ユーザ識別情報とパスワードとを入力するよう要求する画面を表示する手段をさらに有する請求項 1 2 記載のシステム。

【請求項 1 4】 前記インデックス・ファイルには前記プログラムの使用許諾条件に関する情報が含まれており、

前記画面には、前記ユーザ識別情報とパスワードの入力要求に加えて前記プログラムの使用許諾条件に関する情報を表示する請求項 1 3 記載のシステム。

【請求項 1 5】 ユーザからの要求を受取る手段と、

前記要求の受信を契機として、前記ユーザが使用するプログラムの使用許諾に関する認証を与えるサーバのアドレス情報を含むインデックス・ファイルを生成または選択する手段と、

前記インデックス・ファイルを前記要求を発したユーザに送信する手段と、
を有する情報処理システム。

【請求項 1 6】 前記インデックス・ファイルに含まれる前記アドレス情報の部分を暗号化する手段をさらに有する請求項 1 5 記載のシステム。

【請求項 1 7】 現在日時がプログラムの使用許諾期間内であるかを判断する第 1 判断機能と、

前記第 1 判断機能の前記判断が偽の場合、インデックス・サーバに対し、インデックス・ファイルの送信要求を発する機能と、

前記インデックス・サーバからインデックス・ファイルを受信する機能と、
前記インデックス・ファイルに含まれる認証サーバのアドレスに、認証要求を
発する機能と、
前記認証サーバから認証情報を受信する機能と、
前記認証情報に認証成功の情報が含まれるかを判断する第 2 判断機能と、
前記第 2 判断機能の前記判断が真の場合、前記プログラムの使用許諾期間を更
新する機能と、
をコンピュータに実現させるためのプログラム。

【請求項 1 8】 ユーザからの要求を受取る機能と、
前記要求の受信を契機として、前記ユーザが使用するプログラムの使用許諾に
関する認証を与えるサーバのアドレス情報を含むインデックス・ファイルを生成
または選択する機能と、
前記インデックス・ファイルを前記要求を発したユーザに送信する機能と、
をコンピュータに実現させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、プログラムの使用許諾期間（ライセンス期間）の更新方法、情報処
理システムおよびプログラムに関する。特に、ライセンス期間が満了した場合の
ライセンス更新を簡略化し、ユーザに煩雑な手続を強いることのないライセンス
更新に適用して有効な技術に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

コンピュータ・プログラムは著作権で保護されるため、著作権フリーないわゆる
フリーウェアを除き、ライセンス方式によってその使用が許諾されるのが一般
的である。一般にユーザはプログラムを購入する際に個人的な使用が許諾され、
特に使用期限が設けられない場合もある。

【0 0 0 3】

しかし、たとえば、いわゆるシェアウェアや試用プログラムのように、特定の

期間無料または廉価で試用させ、その後さらに使用を希望するユーザにさらに使用許諾（ライセンス）を与える場合もある。この使用許諾に使用期限（ライセンス期間）を設ける場合も多い。

【 0 0 0 4 】

ライセンス期間が設けられるプログラムには、ライセンスキーあるいはプロダクトキーが与えられ、正当なキーと正当な期間情報が与えられてプログラムの全ての機能が実行されるようになっているのが一般的である。すなわち、ユーザはプログラムの使用許諾元から発行された正当なキー情報を入力し、かつ、正当な期間（ライセンス期間）内での使用でなければプログラムを利用することができない。

【 0 0 0 5 】

そこで、ライセンス期間が経過した場合、さらにプログラムの使用を希望するときには、ユーザは使用許諾元（プログラム提供者）から新たなライセンスキーを入手する必要がある。新たなライセンスキーの入手は、一般に、メール等によるユーザからのライセンス更新申請、プログラム提供者による更新申請の認証、プログラム提供者による更新キーの発行送付、ユーザによる更新キーの適用、というステップを経る。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、前記した新たなライセンスキー（更新キー）の申請・発行・取得の手続はユーザおよびプログラム提供者の双方にとって煩雑である。すなわち、ユーザはライセンス期間内にはほとんど意識することがなかった更新手続を行う必要があり、プログラム提供者にとってはユーザからの申請に個別に対応しなければならない。さらにユーザは新たな更新キーを適用しなければならない。このような事務手続を簡略化するためにライセンス期間を相当に長くする方策も考え得るが、ライセンス期間を短くして有効に対価を回収したい場合にはその要求に反する。

【 0 0 0 7 】

あるいは特定の会（クラブ）を結成し、この会員向けに特定のプログラムを包

括的に使用許諾するような場合には、プログラムごとにライセンス更新の申請を受け付けていてはその認証事務手続が膨大になり効率化が強く要請される。

【 0 0 0 8 】

本発明の目的は、プログラム使用許諾（ライセンス）期間の更新認証事務を効率化することにある。また、本発明の目的は、ライセンス期間を自動的に更新できる技術を提供することにある。また、本発明の目的は、ユーザおよびプログラム提供者の双方に利便性の高いライセンス更新システムを提供することにある。また、本発明の目的は、システムの利便性のみならず、セキュリティおよびフレキシビリティに優れたライセンス更新システムおよび方法を提供することにある。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

本願の発明の概略を説明すれば、以下の通りである。すなわち、本発明のプログラム使用許諾期間の更新方法は、現在日時がプログラムの使用許諾期間内であるかを判断する第1判断ステップと、第1判断ステップの判断が偽の場合、インデックス・サーバに対し、インデックス・ファイルの送信要求を発するステップと、インデックス・サーバからインデックス・ファイルを受信するステップと、インデックス・ファイルに含まれる認証サーバのアドレスに、認証要求を発するステップと、認証サーバから認証情報を受信するステップと、認証情報に認証成功の情報が含まれるかを判断する第2判断ステップと、第2判断ステップの判断が真の場合、プログラムの使用許諾期間を更新するステップと、を含む。

【 0 0 1 0 】

なお、プログラムの起動を契機に前記第1ステップが実行され、使用許諾期間の更新の後にプログラムが実行可能となるようにしても良い。また、アドレス情報が暗号化され、この暗号化されたアドレス情報を復号化するステップを有しても良い。また、認証要求には、プログラムの使用が許諾されているグループに属するか否かを判断するためのユーザ識別情報を含み、認証サーバは、このグループを管轄する者が管理するものであってもよい。さらに、認証要求を発する前に、ユーザ識別情報とパスワードとを入力するよう要求する画面を表示し、この画面

にはプログラムの使用許諾条件に関する情報を表示しても良い。

【0011】

本発明によれば、ライセンス期間の満了を自動的に判断して、プログラム提供者（認証サーバ）に自動的に認証要求を発する。認証結果は認証サーバからユーザに返送され、ライセンス期間が自動的に更新される。このためユーザは更新キーの発行を申請することなく、簡便にプログラムのライセンスを再度得ることができる。一方、プログラム提供者は、ユーザからの更新申請が定式化されて送付されるので認証の自動化が可能であり、また、ユーザの更新要求はインデックス・サーバを参照して行われるので認証サーバの変更を容易に行うことができる。すなわち、認証サーバを変更しても、ユーザに対するアドレス送付の必要はなく、インデックス・サーバのインデックス・ファイルを更新するのみで認証サーバのアドレスを変更できる。また、ユーザはインデックス・サーバから認証サーバのアドレス情報を取得するので、認証サーバのアドレスを公開する必要がなく認証サーバのセキュリティを向上できる。また、送付されるアドレス情報は暗号化できるのでさらにセキュリティを向上できる。

【0012】

本発明は、たとえばユーザを会員とする組織にプログラムを許諾する場合に好適なものである。プログラム提供者はユーザの識別情報を会員番号として管理し、会員である限りプログラム使用のライセンスを与える場合などに適用できる。この場合、ユーザはライセンス期間の自動更新に際して会員であることの証明であるユーザ識別情報（会員番号）とパスワードを認証サーバの送信する。本発明では、このような会員番号（識別情報）の入力画面を備える。認証サーバは会員データベースを参照して有効な会員であれば認証を与える。

【0013】

また、本発明は、ユーザからの要求を受取るステップと、要求の受信を契機として、ユーザが使用するプログラムの使用許諾に関する認証を与えるサーバのアドレス情報を含むインデックス・ファイルを生成または選択するステップと、インデックス・ファイルを要求を発したユーザに送信するステップと、を有するプログラムの使用許諾方法である。なお、インデックス・ファイルに含まれるアド

レス情報の部分は暗号化することができる。このような方法によりユーザはインデックス・ファイルを取得できる。

【 0 0 1 4 】

なお、本発明の方法は、システムあるいはプログラムとして把握することも可能である。

【 0 0 1 5 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。ただし、本発明は多くの異なる態様で実施することが可能であり、本実施の形態の記載内容に限定して解釈すべきではない。なお、実施の形態の全体を通して同じ要素には同じ番号を付するものとする。

【 0 0 1 6 】

以下の実施の形態では、主に方法またはシステムについて説明するが、当業者であれば明らかなとおり、本発明はコンピュータで使用可能なプログラムとしても実施できる。したがって、本発明は、ハードウェアとしての実施形態、ソフトウェアとしての実施形態またはソフトウェアとハードウェアとの組合せの実施形態をとることができる。プログラムは、ハードディスク、CD-ROM、光記憶装置または磁気記憶装置等の任意のコンピュータ可読媒体に記録できる。

【 0 0 1 7 】

また以下の実施の形態では、クライアントのシステムおよびサーバのシステムとして、一般的なコンピュータシステムを用いることができる。実施の形態で用いることができるコンピュータシステムは、中央演算処理装置（CPU）、主記憶装置（メインメモリ：RAM）、不揮発性記憶装置（ROM）、コプロセッサ、画像アクセラレータ、キャッシュメモリ、入出力制御装置（I/O）等、一般的なコンピュータシステムに備えられるハードウェア資源を備える。また、ハードディスク装置等の外部記憶装置、インターネット等のネットワークに接続可能な通信手段を備えることができる。コンピュータシステムには、パーソナルコンピュータ、ワークステーション、メインフレームコンピュータ等各種のコンピュータが含まれる。

【 0 0 1 8 】

図 1 は、本発明の一実施の形態であるライセンス期間の更新方法に適用できるシステムの一例を示した概念図である。本実施の形態のシステムは、インターネット 1 に、クライアントのコンピュータシステム 2、インデックス・サーバ 3、認証サーバ 4 が接続されている。

【 0 0 1 9 】

インターネット 1 は、良く知られているように、I P (Internet Protocol) に従って通信が行われる世界的に開かれたネットワークの一形態である。ここではインターネットを例示するが、他のネットワーク形態を利用することも可能である。たとえば専用電話線により接続されたネットワークあるいは C A T V 等のケーブルネットワークでもよい。インターネットの概念には、特定の者にのみ利用が制限されるイントラネットも含む。

【 0 0 2 0 】

クライアントのコンピュータシステム 2 (以下単にクライアント 2 という) は、プログラム提供者等によって使用許諾 (ライセンス) が与えられるプログラムを使用するユーザのコンピュータシステムである。プログラムにはアプリケーション・プログラムが例示できる。以下の説明では、クライアント 2 として一般的なコンピュータシステムを例示して説明するが、携帯電話 6、携帯情報端末 (P D A : Personal Digital Assistants) 7 等がクライアント 2 として機能してもよい。また、図 1 では単一のクライアント 2 として表現しているが、クライアント 2 が多数存在することは言うまでもない。

【 0 0 2 1 】

インデックス・サーバ 3 は、ユーザの要求に応じて、認証サーバ 4 の U R L (uniform resource locator) を含むインデックス・ファイルをユーザに送信する機能を持つ。認証サーバ 4 は、ユーザからのライセンス期間更新要求に対して認証を与える機能を持つ。インデックス・サーバ 3 および認証サーバ 4 には、前記したとおり一般的なコンピュータシステムが利用できる。また、図 1 では各々単一のインデックス・サーバ 3 および認証サーバ 4 として表現しているが、複数のインデックス・サーバ 3 および認証サーバ 4 が存在してもよい。

【 0 0 2 2 】

図 2 は、本実施の形態のライセンス期間更新の概要について時系列に示した図である。時刻 t_0 でユーザがアプリケーション・プログラムをダウンロードする場合を考える（ステップ 1 0）。なお、ユーザはこの時点でプログラム提供者の管理するグループ（会）の会員であるとする。ダウンロードの時からアプリケーション・プログラムのライセンス期間が開始し、ライセンスは時刻 $t_0 \sim t_2$ の間で有効であるとする。この期間（ $t_0 \sim t_2$ ）は、プログラムをインストールする際に同意したライセンス期間となる。時刻 t_1 でユーザがアプリケーション・プログラムを起動した時、ライセンスは有効であるためアプリケーション・プログラムが実行できる（ステップ 1 1）。

【 0 0 2 3 】

一方、ライセンス期間が時刻 t_2 で満了した後の時刻 t_3 にユーザがアプリケーション・プログラムを実行しようとする、従来であればライセンスが有効ではないためプログラムの実行はできない。しかし、本実施の形態では、アプリケーション・プログラムの起動を契機としてユーザの認証を自動的に行い、ライセンス期間を自動的に更新する（ステップ 1 2）。この場合、ユーザの会員資格は依然有効であるため認証が成功しライセンス期間が時刻 t_4 まで更新されてアプリケーション・プログラムが実行可能になる。なお、この更新の際のライセンス期間（ $t_3 \sim t_4$ ）は、前記プログラムをインストールする際のライセンス期間（ $t_0 \sim t_2$ ）と相違しても良い。更新されたライセンス期間は、更新の際のライセンス（契約）に従う。たとえば試用目的に廉価でプログラムを頒布し、その後正式に対価を支払ってプログラムを利用するような場合、試用のライセンス期間（プログラムダウンロードの際のライセンス期間）を 1 ヶ月程度と短くし、正式契約（更新）の際のライセンス期間を 1 年程度に長くできる。

【 0 0 2 4 】

時刻 t_5 でユーザがグループから脱会した場合（ステップ 1 3）、ユーザが会員資格がない期間の時刻 t_6 でアプリケーション・プログラムを起動すると、本実施の形態のシステムは前記同様に認証確認を行うが会員資格が無効なので認証に失敗し、ライセンス期間は更新されず、結果としてアプリケーション・プログ

ラムの実行はできない（ステップ14）。

【0025】

しかしながら、ユーザが時刻t7で再度グループに入会した場合（ステップ15）、それ以降の時刻t8にユーザがアプリケーション・プログラムを実行すると、前記ステップ12の場合と同様にライセンスが有効になり、アプリケーション・プログラムが実行できるようになる（ステップ16）。すなわち、本実施の形態のシステムは会員資格が有効である限りユーザに認証が与えられてアプリケーション・プログラムが利用できるようなシステムである。

【0026】

図3は、クライアント2、インデックス・サーバ3、認証サーバ4の構成の一例を示したブロック図である。

【0027】

クライアント2には、アプリケーション・プログラム20を有し、アプリケーション・プログラム20には、ライセンス期間チェックモジュール21、会員認証モジュール22、アプリケーション実行モジュール23を有する。また、クライアント2には時計24を有する。

【0028】

アプリケーション・プログラム20は、プログラム提供者から提供されるプログラムである。なお、ここではアプリケーション・プログラムを例示するが、プログラム提供者から提供されるプログラムはアプリケーション・プログラムには限られない。たとえば特定のシステムで稼動するシステムプログラム、特定のアプリケーションで利用可能なマクロプログラム等であってもよい。

【0029】

ライセンス期間チェックモジュール21は、アプリケーション・プログラムの起動に際して起動され、現在時刻がライセンス期間内にあるかを判断する機能を持つ。現在時刻は時計24から取得できる。なお、ライセンス期間の情報はクライアント2のシステムの何れかの記憶領域に記録されるほか、適当な通信回線で接続されている他のシステムに記録されても良い。この場合、多数のユーザのライセンス期間を一元的に管理できる。またこの場合、ライセンス期間チェックモ

ジュール 2 1 は、このような通信機能をも有し、適切な情報を取得する手段を有する。

【 0 0 3 0 】

会員認証モジュール 2 2 は、インデックス・サーバ接続手段 2 2 1、インデックス・ファイル取得手段 2 2 2、取得情報デコーダ 2 2 3、UID/PWD 取得・新ライセンス表示ダイアログ 2 2 4、認証サーバ接続手段 2 2 5、認証結果取得手段 2 2 6、認証結果チェック手段 2 2 7 を有する。

【 0 0 3 1 】

インデックス・サーバ接続手段 2 2 1 は、インデックス・サーバ 3 に対しインデックス・ファイルを取得するよう要求を発する。なお、この要求には適切なインデックス・ファイルを選択するために必要な情報、たとえばアプリケーション・プログラムのプロダクトナンバー等を含めることができる。

【 0 0 3 2 】

インデックス・ファイル取得手段 2 2 2 は、インデックス・サーバ 3 から送信されたインデックス・ファイルを受信する、取得情報デコーダ 2 2 3 は、受信したインデックス・ファイルに含まれる暗号を復号化する。本実施の形態では、インデックス・ファイルが暗号化できるため、システムのセキュリティ、特に認証サーバ 4 のアドレス情報に対するセキュリティを向上できる。

【 0 0 3 3 】

UID/PWD 取得・新ライセンス表示ダイアログ 2 2 4 は、認証サーバ 4 に認証要求を行う際に必要な会員番号等のユーザ識別情報およびパスワードを取得する機能を持つ。また、認証後に付与されることとなる新ライセンスの契約内容を表示する機能を持つ。新ライセンス（契約）文書は、インデックス・ファイルに含めてインデックス・サーバ 3 から送ることにより、ライセンス更新ごとに新しい内容を表示できる。

【 0 0 3 4 】

認証サーバ接続手段 2 2 5 は認証サーバ 4 への認証要求を発する機能を持つ。認証要求には、前記したユーザ識別情報（UID）とパスワード（PWD）を含めることができる。認証結果取得手段 2 2 6 は、認証サーバ 4 から送信された認

証結果を取得する。認証結果チェック手段 2 2 7 は、取得した認証結果をチェックし、認証成功の場合にはライセンス期間を更新してアプリケーション・プログラムの実行を可能にする。アプリケーション実行モジュール 2 3 は、アプリケーション・プログラムを実行する。

【 0 0 3 5 】

インデックス・サーバ 3 には、インデックス選択・送信手段 3 1 とインデックス 3 2 を含む。インデックス選択・送信手段 3 1 はクライアント 2 からのインデックス・ファイル送信要求を受けて、インデックス 3 2 から適切なインデックス・ファイルを選択し、あるいは適切なインデックス・ファイルを生成して、クライアント 2 にそのインデックス・ファイルを送信する。なお、インデックス・ファイルはユーザごとあるいはアプリケーション・プログラムごとに予め作成し、インデックス 3 2 に記録することが好ましい。インデックスの選択あるいは生成には、ユーザからの送信要求に含まれるアプリケーション・プログラムの製造番号あるいはユーザ番号を参照できる。

【 0 0 3 6 】

認証サーバ 4 には、認証データ取得手段 4 1、認証可否判断手段 4 2、認証結果送信手段 4 3、会員データベース 4 4 を含む。認証データ取得手段 4 1 は、クライアント 2 からの認証要求とそれに含まれる認証データ（U I D および P W D）を受取る。なお、認証データには U I D および P W D 以外のデータが含まれても良い。認証可否判断手段 4 2 は認証データに基づいて認証の可否判断を行う。判断には会員データベース 4 4 を参照する。たとえば会員データベース 4 4 には現在有効な会員をその U I D と P W D とでデータベース化し、ユーザから送付された、U I D および P W D と一致するか否かを判断して行える。なお、会員データベース 4 4 は認証サーバ 4 内に有する必要はなく、他のシステムに記録されていてもよい。認証結果送信手段 4 3 は、認証可否判断手段 4 2 で判断した認証結果をクライアント 2 に送信する。

【 0 0 3 7 】

図 4 は、本実施の形態のライセンス期間の更新方法の一例を示したフローチャートである。ステップ 5 0 のアプリケーション・プログラムの起動から説明を開

始する。

【 0 0 3 8 】

アプリケーション・プログラムが起動されると、プログラムはライセンス期間と現在日時を取得し（ステップ 5 1）、現在日時がライセンス期間内であるかを判断する（ステップ 5 2）。ライセンス期間である場合は、ステップ 7 2 に進んでアプリケーション・プログラムを実行する（ステップ 7 2）。この場合、ライセンスは有効なので本実施の形態の会員認証は行われず、速やかにアプリケーション・プログラムが実行される。

【 0 0 3 9 】

ライセンス期間外である場合、ライセンスは現在無効であるため、会員認証モジュール 2 2 を起動する（ステップ 5 3）。会員認証モジュールが起動されると、モジュールはインデックス・ファイル取得要求をインデックス・サーバ 3 に対して発する（ステップ 5 4）。

【 0 0 4 0 】

インデックス・サーバ 3 は、ユーザからのこの要求を受取り（ステップ 5 5）、この要求受信を契機としてインデックス・ファイルの選択または生成を行う（ステップ 5 6）。インデックス・ファイルの選択または生成にはインデックス 3 2 を参照する。インデックス・サーバはこの段階でインデックス・ファイルを暗号化しても良い。暗号化は予め行い、インデックス 3 2 に暗号化インデックス・ファイルを記録しておくことが好ましい。その後、インデックス・サーバ 3 は暗号化されたインデックス・ファイルをクライアント 2 に送信する（ステップ 5 7）。

【 0 0 4 1 】

インデックス・ファイルには前記したように認証サーバ 4 の URL を含む。このようにユーザはインデックス・サーバ 3 を参照して認証サーバ 4 の URL を取得するので、認証サーバ 4 の URL を認証サーバ 4 によって公開する必要がない。また、クライアント 2 は本実施の形態の会員認証モジュールを用いる限りインデックス・サーバ 3 にアクセスすれば、常に最新の認証サーバ 4 の URL が取得できる。このため、認証サーバ 4 の URL に変更があってもユーザは無関心でよ

い。また、認証サーバ側ではURLを変更してもインデックス・サーバ3のインデックス・ファイルを変更するだけでよく、各ユーザへの周知あるいは連絡の必要がない。

【0042】

また、インデックス・ファイルは暗号化されるのでシステムのセキュリティ、特に認証サーバ4のアドレスに対するセキュリティを向上できる。なお、インデックス・ファイルには、認証サーバ4のURLのほかにライセンス期間やプログラム使用条件等の情報を含めることができる。

【0043】

図5はインデックス・サーバ3が送信するインデックス・ファイルの一例を示す図である。本ファイルはXML (extensible markup language) で記述されている。ここでは「url」タグで囲まれた部分に認証サーバ4のURLが暗号化されて記述されている。また、「information」タグで囲まれた部分には、「frequency」タグで囲まれているライセンス期間、「requirement」タグで囲まれたプログラム使用条件に関するテキストが記述されている。

【0044】

次に、クライアント2が暗号化されたインデックス・ファイルを受信すると（ステップ58）、この暗号を復号化し平文のインデックス・ファイルを得る（ステップ59）。図6は復号化した後のインデックス・ファイルの一例を示す。図5と比較して「url」タグで囲まれた部分が意味のある平文になっている。

【0045】

なお、ここではインデックス・ファイルの一部が暗号化・復号化される例を示しているが、インデックス・ファイルの全てが暗号化されても良いことは勿論である。

【0046】

次に、クライアント2は、UID（会員番号）とPWD（パスワード）を入力する画面を表示する（ステップ60）。また、この画面にはプログラム使用条件が同時に表示されても良い。

【0047】

図 7 は、会員番号およびパスワードを入力する画面の一例を示した図である。画面のウィンドウ 8 0 内には、会員番号を入力するフィールド 8 1 とパスワードを入力するフィールド 8 2 を有する。また、サブウィンドウ 8 3 にはプログラム使用条件が表示される。この新しいプログラム使用条件にユーザが同意する時には「はい」のボタン 8 4 をクリックし、同意しない時には「いいえ」のボタン 8 5 をクリックする。なお、「いいえ」のボタン 8 5 が押された時にはプログラムは終了する。

【 0 0 4 8 】

次に、クライアント 2 は、たとえば前記フィールド 8 1、8 2 に入力されたデータから U I D と P W D を取得し（ステップ 6 1）、これらデータを認証データとする。なお、ここではユーザ入力により認証データを得る方法を例示したが、たとえばクライアント 2 のシステム内にユーザ情報を記録し、このユーザ情報から必要なデータを取得して認証データとしても良い。

【 0 0 4 9 】

次に、クライアント 2 は、認証サーバ 4 に認証の取得要求を発する（ステップ 6 2）。取得要求には前記ステップで取得した U I D / P W D 等の認証データを含める。

【 0 0 5 0 】

次に、認証サーバ 4 がクライアント 2 からの認証要求を受取り、同時に認証データを受取る（ステップ 6 3）。認証サーバ 4 は、クライアントからの要求を契機として、会員データベース 4 4 を検索し（ステップ 6 4）、認証要求の会員の資格が有効であるかを判断する（ステップ 6 5）。会員資格が有効である時には、認証成功の「ReturnValue」を生成し（ステップ 6 6）、会員資格が無効の場合には認証失敗の「ReturnValue」を生成する（ステップ 6 7）。そしてこの「ReturnValue」を認証結果としてクライアント 2 に送信する。

【 0 0 5 1 】

クライアント 2 は、「ReturnValue」を受信し（ステップ 6 9）、「ReturnValue」が認証成功であるかを判断する（ステップ 7 0）。認証成功の場合、ライセンス期間を新たなライセンス期間に更新し（ステップ 7 1）、アプリケーション

・プログラムを実行する（ステップ72）。その後処理を終了する（ステップ73）。認証失敗の場合はライセンス期間を更新することなく、また、アプリケーション・プログラムを実行することなく終了する（ステップ73）。

【0052】

本実施の形態によれば、ユーザはライセンス期間を経過したプログラムを実行するに際して、プログラム提供者に新たなライセンスの申請、ライセンス期間の更新申請を行う必要がない。本実施の形態では、ライセンス期間の経過を自動的に判断し、認証を自動的に取得できる（ただしユーザID（会員番号）とパスワードの入力は要求される）。また、本実施の形態によれば、認証サーバ4のアドレスをインデックス・サーバ3から取得するので、認証サーバ4のアドレス変更を容易に行える。また、インデックス・ファイルを認証ごとに取得するので、最新の使用条件等、最新データをユーザに提示できる。さらにインデックス・ファイルを暗号化してシステムのセキュリティを向上できる。

【0053】

以上、本発明者によってなされた発明を発明の実施の形態に基づき具体的に説明したが、本発明は前記実施の形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変更することが可能である。

【0054】

たとえば、前記実施の形態では、プログラム使用の当初からライセンスを与えられている場合を説明したが、当初は試用段階のライセンスが与えられ、その後正式なライセンスが与えられる場合にも適用できる。

【0055】

また、前記実施の形態では、認証サーバ4が単一の場合を説明したが、図8に示すように複数の認証サーバ4-1、4-2を有しても良い。ユーザに異なるプログラム提供者からのプログラムが提供されている時には、提供者ごとに認証サーバを設置し、提供者独自のユーザ（会員）管理を行う場合にも本発明が利用できる。この場合、プログラム提供者が異なっても、図示するように単一のインデックス・サーバを共用することができる。

【0056】

また、図9に示すように、インデックス・サーバと認証サーバを単一のサーバで実現しても構わない。

【0057】

さらに、本発明はライセンス期間を自由に設定できる。そしてライセンス期間の更新が簡便に実現できる本発明は、そのようなライセンス期間を自由に設定したいと望むプログラム提供者やユーザに安全で且つ利便性の高いシステムを提供できるものである。

【0058】

また、前記実施の形態ではインデックス・ファイルの一部または全部が暗号化される例を示したが、インデックス・ファイルは暗号化されなくても良い。

【0059】

【発明の効果】

本願で開示される発明のうち、代表的なものによって得られる効果は、以下の通りである。すなわち、プログラム使用許諾（ライセンス）期間の更新認証事務を効率化することができる。また、ライセンス期間を自動的に更新でき、ユーザおよびプログラム提供者の双方に利便性の高いシステムを提供できる。また、セキュリティおよびフレキシビリティに優れたライセンス更新システムおよび方法を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の一実施の形態であるライセンス期間の更新方法に適用できるシステムの一例を示した概念図である。

【図2】

本発明の一実施の形態であるライセンス期間更新の概要について時系列に示した図である。

【図3】

クライアント、インデックス・サーバ、認証サーバの構成の一例を示したブロック図である。

【図4】

本発明の一実施の形態であるライセンス期間の更新方法の一例を示したフローチャートである。

【図 5】

インデックス・サーバが送信するインデックス・ファイルの一例を示す図である。

【図 6】

復号化した後のインデックス・ファイルの一例を示す図である。

【図 7】

会員番号およびパスワードを入力する画面の一例を示した図である。

【図 8】

本発明の他の実施の形態の一例を示したブロック図である。

【図 9】

本発明の他の実施の形態の他の例を示したブロック図である。

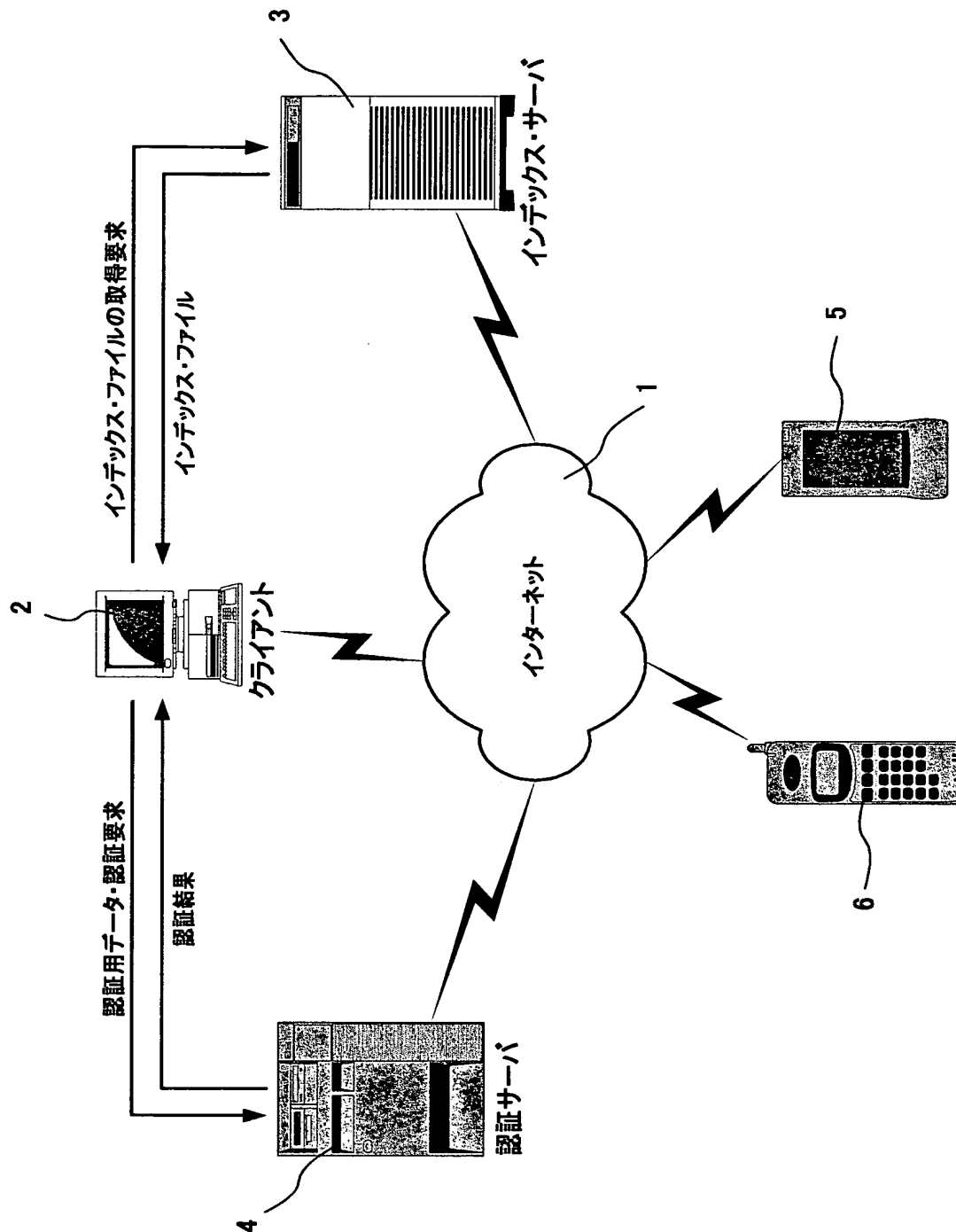
【符号の説明】

1…インターネット、2…クライアント、3…インデックス・サーバ、4…認証サーバ、5…携帯情報端末（PDA）、6…携帯電話、20…アプリケーション・プログラム、21…ライセンス期間チェックモジュール、22…会員認証モジュール、221…インデックス・サーバ接続手段、222…インデックス・ファイル取得手段、223…取得情報デコーダ、224…UID/PWD取得・新ライセンス表示ダイアログ、225…認証サーバ接続手段、226…認証結果取得手段、227…認証結果チェック手段、23…アプリケーション実行モジュール、24…時計、31…インデックス選択・送信手段、32…インデックス、41…認証データ取得手段、42…認証可否判断手段、43…認証結果送信手段、44…会員データベース、80…ウィンドウ、81、82…フィールド、83…サブウィンドウ、84、85…ボタン、t0～t8…時刻。

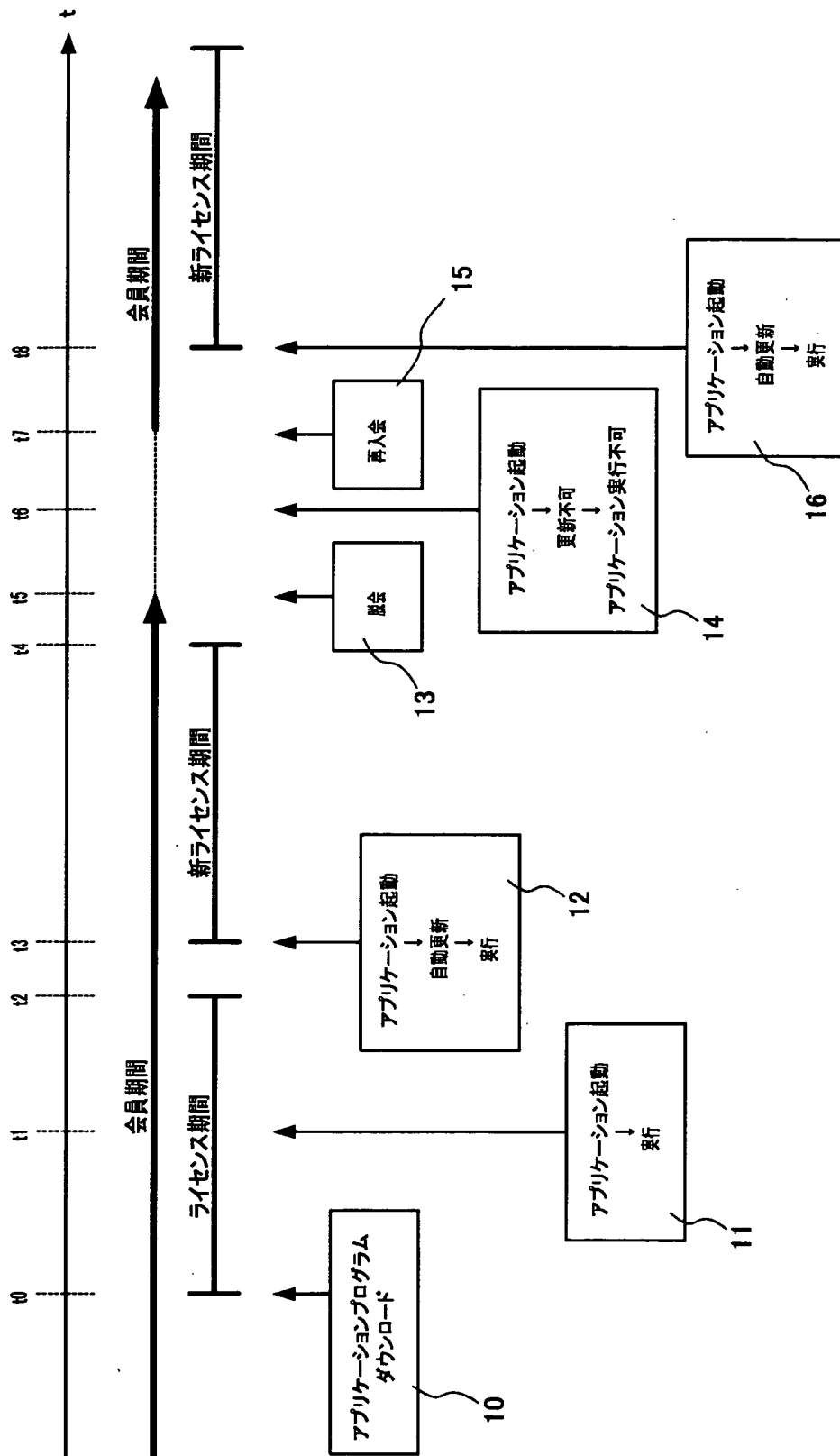
特2001-055976

【書類名】 図面

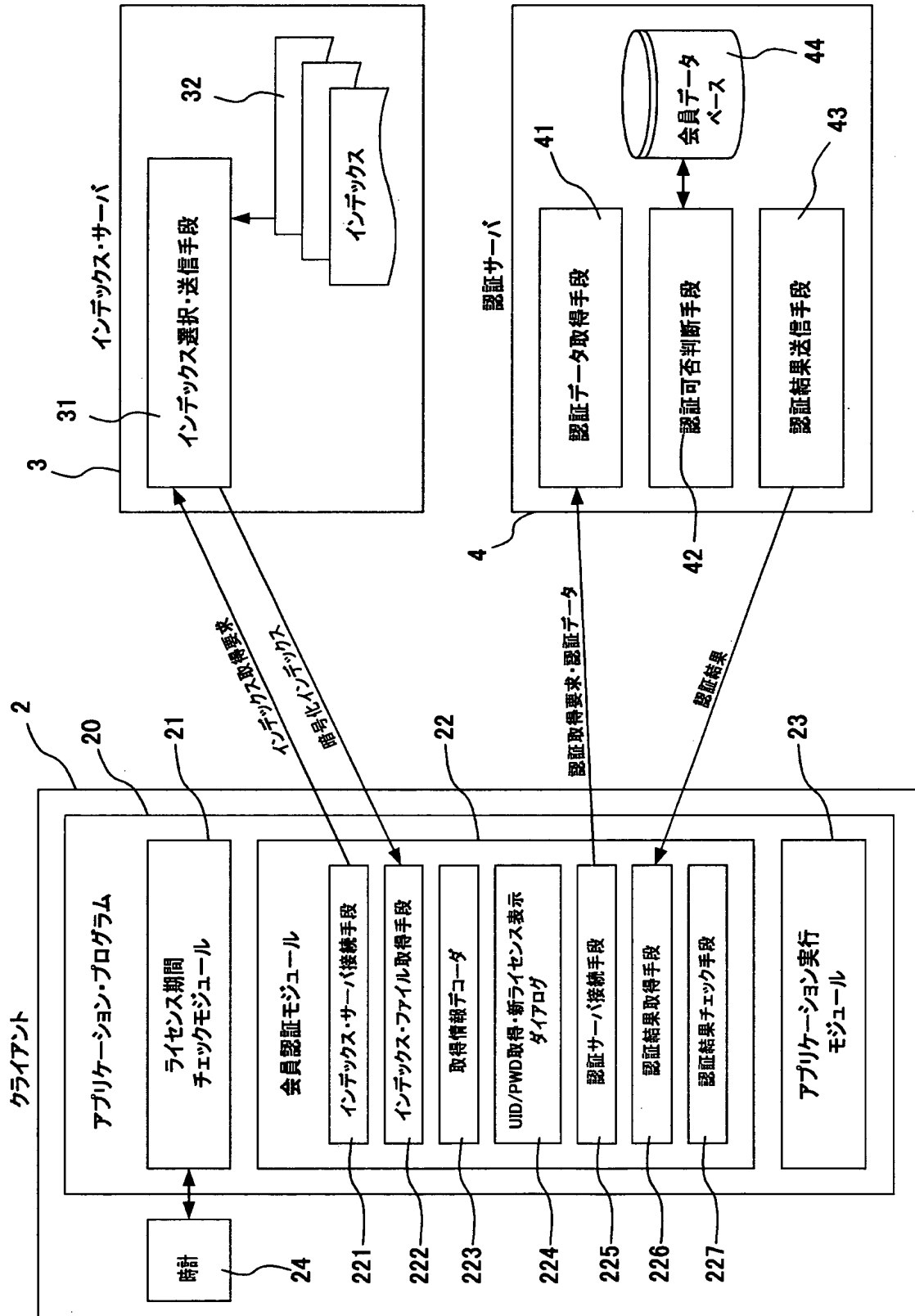
【図 1】



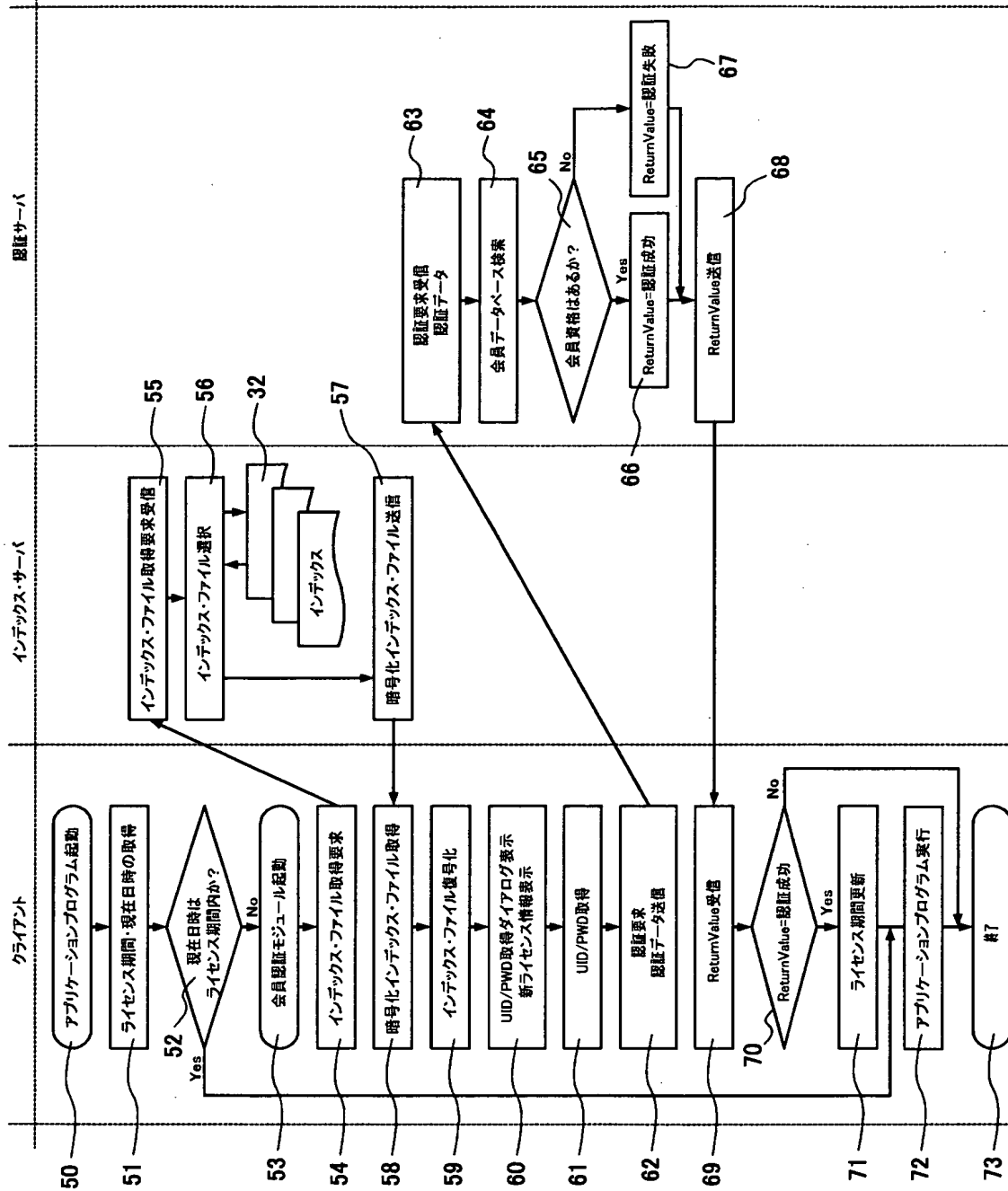
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

```

<?xml version='1.0' encoding='SHIFT_JIS' ?>
<pkm-taxonomy version="1.0" local save="no">
<description>user authentication server</description>
<site>
<url>aabbcccdseiiiissel#$$$&&.....
.....aashhhjjjddkkfir</url>
<information>
<frequency>365</frequency>
<requirement>プログラム使用許諾条件
このプログラムは以下の条件に従うことを.....
</requirement>
</information>
</site>
</pkm-taxonomy>

```

【図 6】

```

<?xml version='1.0' encoding='SHIFT_JIS' ?>
<pkm-taxonomy version="1.0" local save="no">
<description>user authentication server</description>
<site>
<url>https://www.abcd.com/cgi-bin/abc_club/index.cgi?html=index.html</url>
<information>
<frequency>365</frequency>
<requirement>プログラム使用許諾条件
このプログラムは以下の条件に従うことを.....
</requirement>
</information>
</site>
</pkm-taxonomy>

```

【図 7】

80

会員番号 81

パスワード 82

83

プログラム使用許諾条件

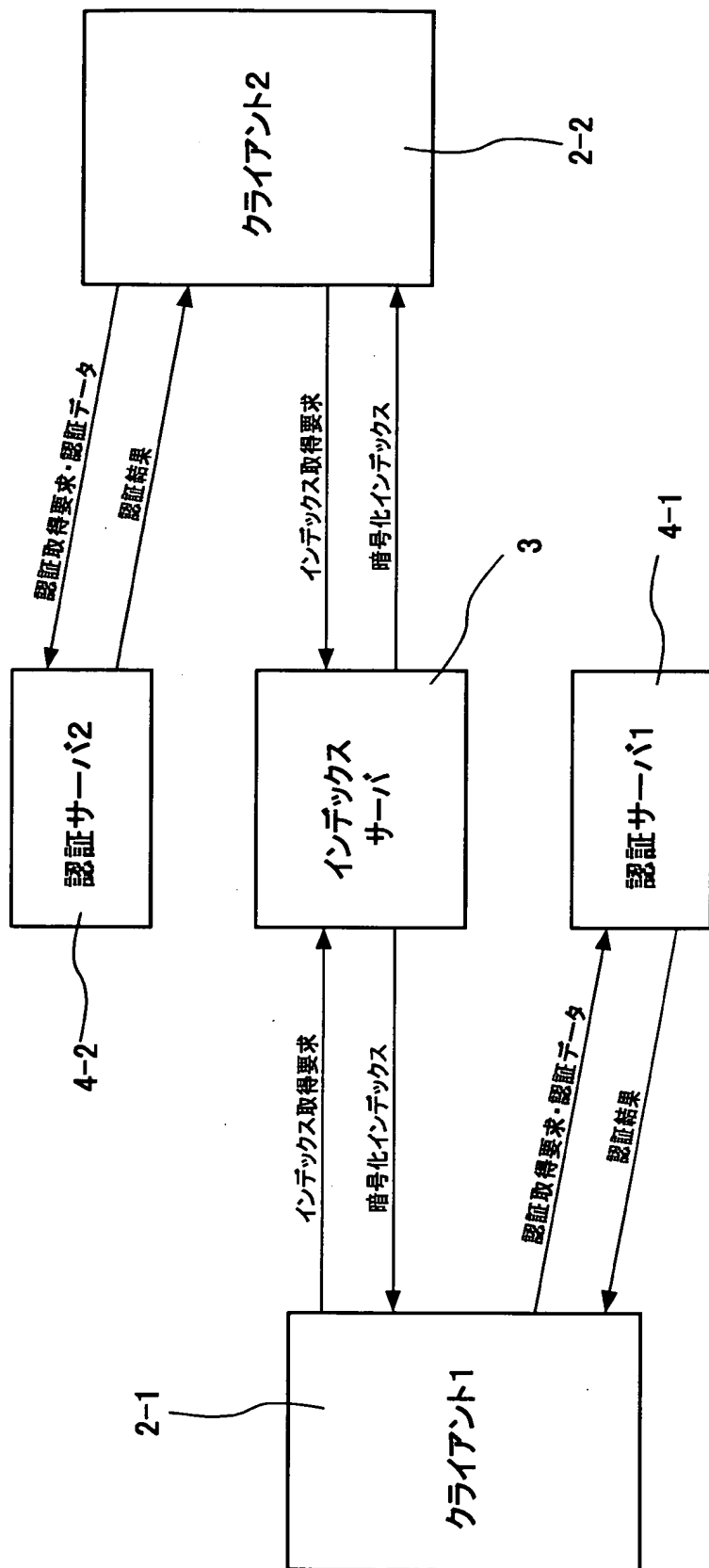
このプログラムは以下の条件に従うことを……

全ての条項に同意しますか？

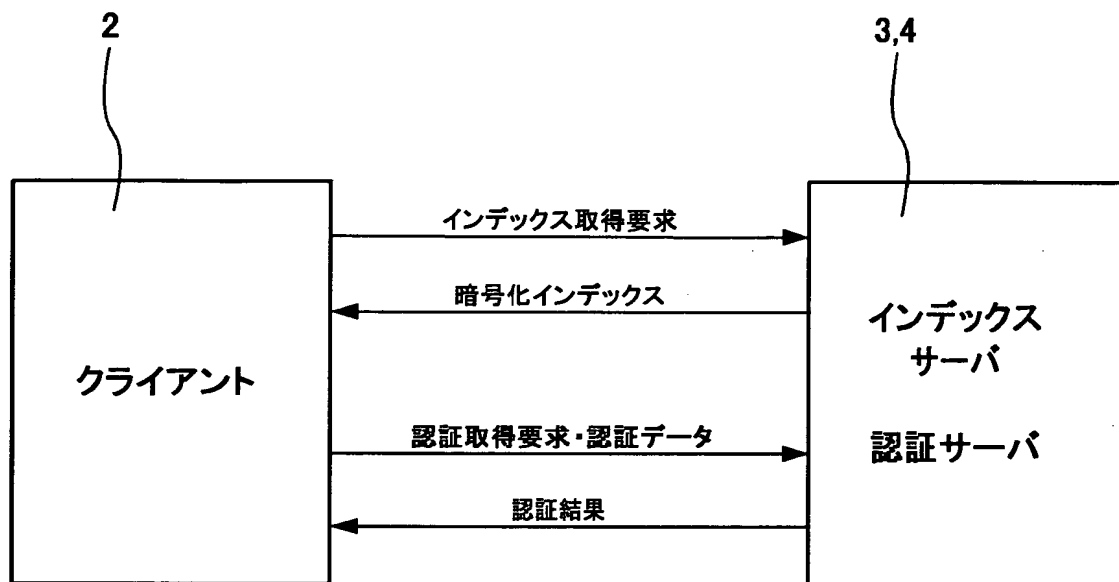
はい(Y) 84

いいえ(N) 85

【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 プログラム使用許諾（ライセンス）期間の更新を自動的に行う。

【解決手段】 現在日時がプログラムの使用許諾期間内であるかを判断し（ステップ52）、インデックス・サーバにインデックス・ファイルの送信要求を発し（ステップ54）、インデックス・サーバからインデックス・ファイルを受信し（ステップ58）、インデックス・ファイルに含まれる認証サーバのアドレスに、認証要求を発し（ステップ62）、認証サーバから認証情報を受信し（ステップ69）、認証成功の場合にはプログラムの使用許諾期間を更新し（ステップ71）。プログラムを実行する（ステップ72）。

【選択図】 図4

職権訂正履歴（職権訂正）

特許出願の番号	特願 2001-055976
受付番号	50100287141
書類名	特許願
担当官	佐藤 浩聡 7664
作成日	平成 13 年 5 月 17 日

<訂正内容 1>

訂正ドキュメント

明細書

訂正原因

職権による訂正

訂正メモ

【図面の簡単な説明】の「【図 6】」を行頭に配置しました。

訂正前内容

【図 5】

インデックス・サーバが送信するインデックス・ファイルの一例を示す図である。 【図 6】

復号化した後のインデックス・ファイルの一例を示す図である。

【図 7】

訂正後内容

【図 5】

インデックス・サーバが送信するインデックス・ファイルの一例を示す図である。

【図 6】

復号化した後のインデックス・ファイルの一例を示す図である。

【図 7】

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [390009531]

1. 変更年月日 2000年 5月16日
[変更理由] 名称変更
住 所 アメリカ合衆国10504、ニューヨーク州 アーモンク (番地なし)
氏 名 インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション